

都市居住魅力の戦略的推進に向けての提言

都市居住を取り巻く近年の状況 ～戦略の背景～

全国的な動き

開発型から修復型の都市づくりへの転換の進行
人口及び中枢機能の東京圏への一極集中と都市間競争の激化
ライフスタイルの多様化・個性化と、住環境に対するニーズの多様化
環境に配慮した、安全・安心な住まい・まちづくりへの意識の高まり
住まい・まちづくり分野での情報収集・発信機能の多様化

大阪市における現状

個性豊かな居住地が数多く存在するものの、その情報発信が不十分
生活利便性が高く評価される一方で、治安の悪さ等、負のイメージにより、魅力的な居住地としての認知が不足
都心部への人口回帰がみられる一方で、地域のコミュニティと新住民との交流が不足
まちづくりに関わる人の増加とそのネットワーク化
HOPEゾーン事業など、都市居住魅力の創造に関わる取り組みの経験

戦略の必要性

住んでいる人はもとより、働く人や学ぶ人、訪れる人にとっても住みたいと感じられる魅力あるまちを実現するためには、住宅や住環境を整備するだけでなく、暮らしやすさや生活の質を高め、地域の豊かさや文化の創造的発展を支える基盤として住まいや住環境を捉えることが重要である。

そこで、「まちに住まう」視点から、地域の歴史や文化、人々の繋がりなど、これまで大阪が育んできた有形無形の資産を活かし、都市居住の魅力により一層高めることが、今まさに強く求められている。

戦略の目標

まちの遺伝子と人のネットワークで、魅力ある居住地を育み、住むまち大阪の魅力を高める

まちの遺伝子を活かした
居住地づくり

地域の熱意と人のネットワーク
による居住地づくり

住むまち大阪の魅力の
情報発信と共有

具体的なプロジェクト

HOPEゾーン事業の全市的展開

歴史・文化資源、近代建築、にぎわいある商店街、水・緑等の様々な地域資源や地域の熱意を再発見・再認識し、市民やNPO等と連携・協働しながら、居住地の魅力を高めるHOPEゾーン事業を戦略的に全市へ展開するとともに、それらをネットワーク化することにより、大阪の地域ブランド力の向上を図る。

多様な地域資源を活かしたまちなみ整備への展開

多様な手法を活用したまちなみ整備への展開

マイルドHOPEゾーン事業における展開

協議会活動の多彩な展開と事業地区のネットワーク化

関係部局によるネットワーク組織の設置

既存ストック等の活用による創造的人材の居住促進

既存住宅ストック等を活用し、アーティストやクリエイターなど、多様な人材の市内居住を促進することにより、新たな都市居住の魅力を創出する。

既存ストックを活用したアーティストの居住支援
SOHO型住宅に関する情報提供や普及啓発等による
創造的人材の居住支援

居住地魅力づくりのための地域活動への支援

住まい情報センターのノウハウ等も活用し、市民が主体となった地域活動への支援を行い、魅力ある居住地づくりの活性化とそれに携わる人のネットワークを形成する。

居住地魅力づくり活動への支援の推進

まちへの愛着を高めるまちかど広場づくり

地域住民自らが主体となって、地域活動や防災活動の拠点となるまちかど広場づくりを進め、そのプロセスを通じてまちへの愛着を高めることにより、地域の活力を高める。

地域住民自らによる計画づくりと維持管理の実施
まちかど広場ネットワークの構築

住むまち大阪の魅力情報の発信

住むまち大阪の魅力を今日的な視点であらためて整理し、それらを効果的な手法で発信することにより、市内外の方々に、広く大阪の居住地の魅力を知ってもらう。

住むまち大阪の魅力を紹介するコンテンツづくり
「(仮称)住むまち大阪スタイル」の編集、刊行
住まい情報センターを中心とした効果的な情報発信